

第3回看護人間工学会 学術集会報告

さまざまなニーズに看護人間工学で応える
- そうか、これだ！ の実感 -

第3回看護人間工学会学術集会は、コロナ禍の影響を受けてオンライン開催になりました。看護人間工学を愛する54名の参加者が画面越しに集い、充実したプログラムの中、活発な意見交換を行い、まさに盛会となりました。その様子を一部紹介いたします。

会期：令和3年9月18日 9時30分～16時

会場：Zoom

学術集会長：國澤尚子（埼玉県立大学）

プログラム

【会長講演】 「壁から飛び出したトイレ手すりのその後」

講師 國澤 尚子（埼玉県立大学）

座長 樋之津 淳子（札幌市立大学）

【招待講演】 「看護教育における人間工学の役割を考える」

講師 三澤 哲夫（千葉工業大学名誉教授）

座長 國澤 尚子（埼玉県立大学）

【教育講演】 「気軽に実験しませんか partⅡ」

講師 徳重 あつ子（武庫川女子大学）、能登 裕子（九州大学）

伊部 亜希（敦賀市立看護大学）、野呂 影勇（早稲田大学）

座長 箕浦 哲嗣（愛知県立大学）

【ワークショップ】 看護ケアの「気持ちいい」を見える化する試み

講師 木村 伸子（東都大学）、武田 美津代（埼玉県立大学）

【一般演題】 6演題

座長 川野 道宏（佐久大学）、高柳雅朗（埼玉県立大学）

【追加講演】 「コロナ禍緊急入院7/5～7/13の9日間」

講師 小川 鑛一（元東京電機大学）、座長 國澤 尚子（埼玉県立大学）

【総会】

【懇親会（オンライン開催）】

プログラム内容のご紹介

【会長講演】

『壁から飛び出したトイレの手すりその後』

施設用のトイレ手すり「立体サポート」について2019年の第1回大会にて報告いただいた、その後の進展をご報告いただきました。試作品利用者からは「立体サポートは「安心感がある」「介護者の腰への負担が減って楽だ」などの意見があるそうです。2020年から本格製品化しておりますが、開発活動はこれからも続きます。



大会長 國澤尚子
(埼玉県立大学)



座長：樋之津淳子
(札幌市立大学)

【招待講演】

『看護教育における人間工学の役割を考える』

看護教育における医療安全教育と人間工学との関連、経緯および人間工学が果たす役割についてお話しいただきました。人間工学がヒトと周囲との関係の最適化を目的としており、そのために人間の特性を把握することの重要性和看護教育カリキュラム上の位置づけの明確化をご教授いただきました。

講師：三澤哲夫
(千葉工業大学名誉教授)

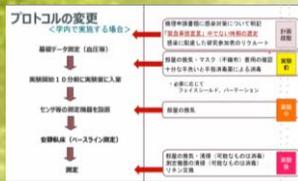
座長：國澤尚子
(埼玉県立大学)

【教育講演】 気軽に実験しませんか part II



講師 徳重あつ子 (武庫川女子大学)
能登裕子 (九州大学)
伊部亜希 (敦賀市立看護大学)
野呂影勇 (早稲田大学・エルゴシーティング)
座長 箕浦哲嗣 (愛知県立大学)

第2回学術集会の教育講演に続き、生体データに関連する実験研究に取り組んでいる講師陣がそのノウハウを披露してくれました。



【ワークショップ】

看護ケアの「気持ちいい」を見える化する試み

講師：木村伸子
(東都大学)
武田美津代
(埼玉県立大学)



【追加公演】 コロナ禍の緊急入院



講師：小川鏡一
(元東京電機大学)

【一般演題】 6件の演題が報告されました。

夜間勤務に従事する看護師・ケアワーカーの腰痛の実態、三軸加速度センサによる前傾姿勢中のひねり動作検出、骨盤の解剖学教材ペーパークラフトの開発、ライフログへの共起ネットワーク適用による情動と行動の把握、看護基礎教育における模擬電子カルテ活用の実践報告、拡張現実 (AR)を用いた看護技術自己学習教材の試作など様々なテーマがありました。



座長、演者のみなさん

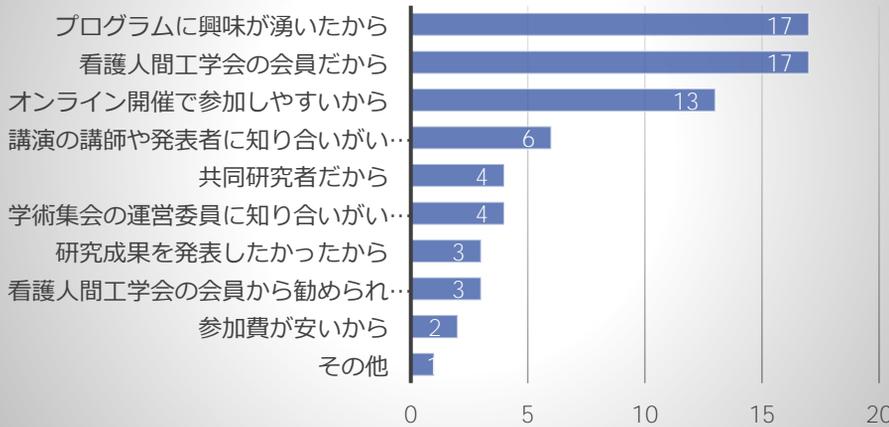
【懇親会】理事長主催オンライン懇親会が開催されました



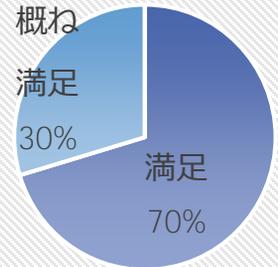
記念撮影

アンケートの集計結果

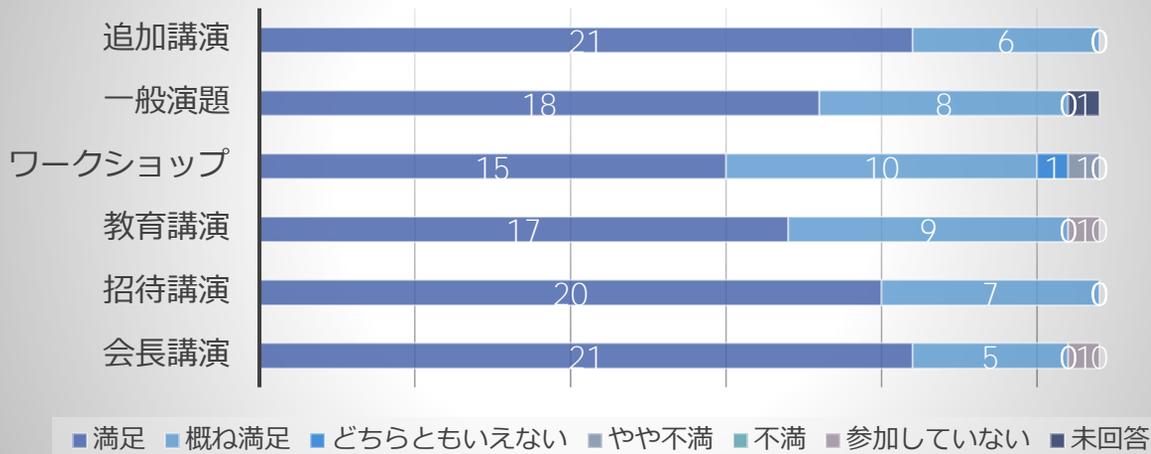
1. 参加動機（複数選択可）



2. 全体の満足度



3. 各プログラムの満足度



4. 学術集会全般へのご意見

- 興味深いお話ばかりで、大変勉強になりました。知的好奇心・探究心をかき立てられる内容でした。遠隔で参加はしやすかったのですが、対面で交流が深められたらと感じました。
- 大学行事と重複してしまい、教育講演を聞くことができませんでした。動画などの配信があるとうれしく思いました。
- トラブルもなく全てがスマートで感動しました。素晴らしかったです。
- 現地開催で実技によるデモンストレーションなどがあるといいと思いました。
- zoomの案内や抄録集もわかりやすく、参加しやすかったです。事前の参加登録や参加費も近々の日にちまで設定してもらえていたので有難かったです。

貴重な意見をお寄せいただきありがとうございました。また2022年の学術集会で逢いましょう。
第4回学術集会長は、外村昌子先生（森ノ宮医療大学）です。[看護人間工学会 広報渉外委員会]